

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年5月22日

【2017年5月13日～2017年5月19日までの推移】

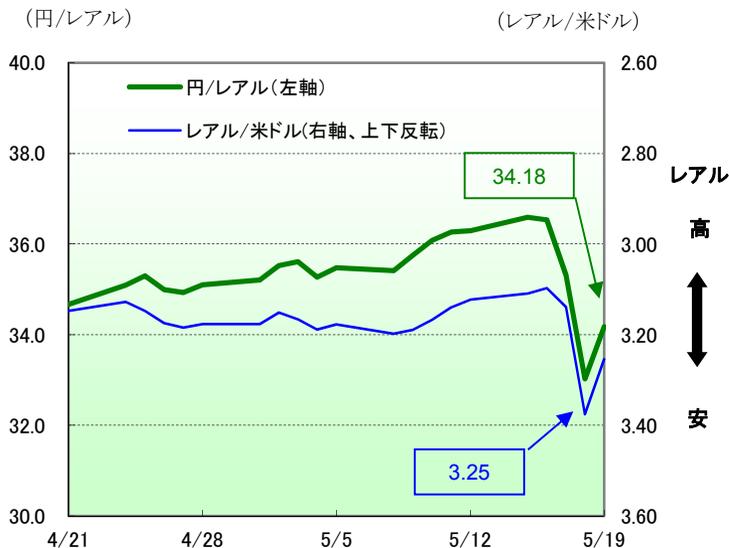
【1】先週の回顧

先週は、対円、対米ドルともに、リアルは下落しました。2年国債金利は上昇しました。

現地紙は17日(現地時間、以下同様)夜、大手石油会社の汚職事件をめぐり、テメル大統領が、自身の汚職隠ぺいのため、クーニャ前下院議長宛の口止め料の支払いを承認していたと報じました。汚職事件への関与が疑われるブラジル食肉加工会社の会長が、司法取引に応じて最高裁判所に会話の録音テープを提出したことで明らかになったと報道されています。今回の報道を受けて、18日のブラジル金融市場は大きく下落しました。

テメル大統領が疑惑を否定し辞任も否定したことや、前日に大幅に下落した反動から、19日のブラジル金融市場は上昇しました。

【ブラジル・リアル 為替推移】(2017年4月21日～2017年5月19日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

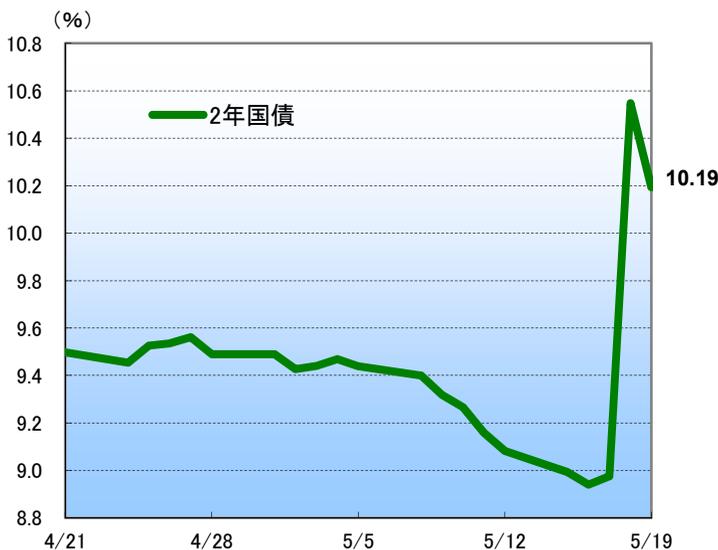
【2】今週の見通し

今回のテメル大統領の疑惑報道により、5月末にも下院での採決が行われるとみられる社会保障改革法案について、下院本会議における審議が進まない懸念や、採決が延期される可能性が浮上してきました。

下院で行なわれる年金改革法案の採決は、ブラジル政府の財政再建の意思が揺るがないものかどうかを確認する試金石として注目されます。

一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求するなどの動きはあるものの、現時点でテメル大統領の政権運営への影響は不確定な部分が多く、今後の進展を見守る必要があると考えています。

【ブラジル 金利推移】(2017年4月21日～2017年5月19日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>